

# 一般競争入札公告

次とおり建設工事の一般競争入札を行うので公告します。

令和5年12月13日

医療法人社団 慈正会 理事長 大矢 宏典

## 1 入札内容

- (1) 工事名称 (仮称)大矢整形外科病院新築工事
- (2) 工事場所 広島県呉市中央4丁目4-2, 4-3, 4-4
- (3) 工事期間 契約締結日から令和7年7月31日まで
- (4) 工事内容 工事種別：新築工事  
工事範囲：新築工事に伴う建築・電気設備・給排水衛生設備・空調調和換気設備・消防設備・外構工事
- (5) 建物概要 構造規模：鉄骨造 地上8階建て  
建物用途：病院  
敷地面積：873.10 m<sup>2</sup>  
建築面積：402.04 m<sup>2</sup>  
延床面積：3012.15 m<sup>2</sup>

## 2 入札方法

- (1) 入札方法 一般競争入札
- (2) 予定価格 非公表
- (3) 最低制限価格 有
- (4) 入札保証金 無

## 3 入札参加資格

- (1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しない者であること。
- (2) 会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続き開始の申立てがなされている者でないこと、又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続き開始の申立てがなされている者でないこと。
- (3) 令和5・6年度広島県建設工事等入札参加資格者名簿に登録されている者で、業種を建築一式工事とする。
- (4) 参加資格者名簿に認定された格付けがAであること。
- (5) 最新の経営事項審査における建築一式工事の総合評価値が1100点以上であること。
- (6) 広島県内に本店、支店又はこれに準ずるものを有している者。
- (7) 特定建設業の許可を有すること。
- (8) 公告日から落札決定までの期間に、広島県の指名除外の対象となっていないこと。
- (9) 過去10年(平成25年9月以降に竣工のもの)に医療・福祉施設にて新築または、増築工事を元請で施工した実績を有する者。
- (10) 当法人の理事が役員をしている企業ではないこと。および対象工事に係る設計業務の受注者又は当該受注者と資本及び人事面において次に掲げる関係にある者でないこと。
  - (ア) 当該受託者の発行済株式総数の過半数を有する
  - (イ) 代表権を有する役員が当該受託者の代表権を有する役員を兼ねている

- (11) 本件工事に、所属建設業者と3か月以上の雇用関係を有する一級建築士または一級建築施工管理技士資格を有した主任技術者または監理技術者を専任で配置すること。なお、監理技術者にあたっては、建築工事業に係る監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有すること。

#### 4 設計図書

- (1) 設計図書は、次のとおり閲覧に供する。

ア 受付日時 令和5年12月25日～令和6年1月10日午後5時迄

ただし、土曜日、日曜日、祝祭日を除く

イ 閲覧場所 大矢整形外科病院

なお、入札参加希望者に対して設計図書等をCDにて配布します。

- (2) 設計図書に対する質問がある場合は、次によってメールにて提出すること。

ア 受付日時 令和5年12月25日～令和6年1月16日 午後5時迄

イ 受付場所 有限会社ナスカ 担当 杉下(メールアドレス sugishita@studio-nasca.com)

- (3)(2)の質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供する。

ア 回答日時 令和6年1月23日 午後5時

イ 回答場所 メールにて入札参加希望者に全ての質問及び回答を送付

#### 5 入札

- (1) 入札日時 令和6年1月30日 11時

- (2) 入札場所 大矢整形外科病院（詳細は入札参加者に別途通知）

#### 6 開札

- (1) 開札日時 令和6年1月30日 入札に引き続き

- (2) 開札場所 大矢整形外科病院

#### 7 資格要件確認書類

- (1) 入札に参加を希望する者は下記の資格要件確認書類を提出すること。

ア 提出書類 (ア)一般競争入札参加申請書

(イ)経営規模等評価結果通知書の写し

(ウ)配置予定技術者の資格

(エ)建設工事施工実績を証する契約書の写し

イ 提出方法 持参又は郵送

ウ 提出場所 大矢整形外科病院

エ 提出期限 令和5年12月25日 午後5時（郵送の場合は必着とする）

- (2) 資格要件確認書類の用紙は令和5年12月13日～22日の間に、大矢整形外科病院にて配布する。

- (3) 参加資格審査結果通知

参加資格審査を行い、資格を有する者には令和5年12月26日までに電話で連絡し、参加資格通知書を交付する。

#### 8 落札の決定方法

- (1) 落札は予定価格以下で最低制限価格以上の者のうち、最低価格の者とする。

- (2) (1)によって落札しないときは、再度入札を実施する(再度入札は3回)。再度入札に参加できる者は初度入札に参加したものとする。ただし、初度入札において次の各号のいずれかに該当した者は再度入札に

参加できない。

① 無効入札をした者

② 最低制限価格未満の入札をした者

(3) 落札者とすべき同額の入札をした者が2社以上ある場合は、くじ引きにより落札者を決定する。

(4) 上記(2)によっても落札者がいない場合は、不落随意契約を行うことがある。

随意契約の相手方となることができる者は再度入札に参加した者とする。ただし、再度入札において無効の入札を行った者は随意契約の相手方となることはできない。

随意契約の相手方となることを希望する者から見積書を提出させ、見積額が予定価格以下で最低制限価格以上の場合、当該見積りした者を契約の相手方とする。

9 委任状 入札者は会社の代表者とし、代理人が入札する場合は委任状を提出すること。

#### 10 支払い条件

(1) 契約時 契約金額 30%

(2) 中間時 契約金額 30%

(3) 完成時 契約金額 40%

#### 11 諸手続き及び工事補償

契約後の工事に関する一切の手続き、諸官庁に対する届出は、請負業者において行うものとする。それに要する費用は請負業者の負担とする。道路補修、隣家補償、騒音、その他施工上の諸問題はすべて請負者の責任において処理すること。

#### 12 その他

入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額(当該金額に1円未満諸端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額)をもって契約価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。